投票率100%は不可能か？

令和８年12月27日、福津市議会議員選挙が行われます。そこで、今号は『選挙』、さらには投票率にも焦点をあてています。『選挙』を少しでも身近なものとして考えていただきたい！そんな思いで今号の特集を組みました。ぜひ、ご感想やご意見等をいただけると幸いです。



福間中学校 生徒会長 隈 瑛斗（くま あきと）さん

福間東中学校 生徒会長 徳永 響奏（とくなが なる）さん

津屋崎中学校 生徒会長 藏本 光秋（くらもと てるあき）さん

生徒会選挙に自ら候補者としても関わった、３中学校の生徒会長が『選挙』について存分に語ってくれました。

Q 生徒会長に立候補した理由は？

隈さん きっかけは「ＭＦＫｓみらい塾」に参加したこと。古賀市長やさまざまな講師と話をすること、参加者同士でコミュニケーションすることを通じて、いろんなことを学んだ。これを生かすには、生徒会長になるしかない！と思い立候補した。

徳永さん 僕の名前は響き奏でると書く。だから東中をみんなの笑い声で響きたいと思ったから。そして、奏でたいという思いから生徒会長に立候補した。

藏本さん 兄が昨年は生徒会副会長、一昨年は書記をしていた。家でも学校でも兄の活躍を見てカッコいいと思っていたこと、ルールやマナーを守りながら元気で楽しい学校をつくりたい！と思ったから、生徒会長に立候補する決意をした。

Q 生徒会長になってみてどうだった？

隈さん まず感じたことは、人をまとめることの大切さ。生徒会みんなの考えがバラバラだったので、一番に生徒会テーマを「クローバー」に決めた。そこからは、向かいたい方向へ意見交換などをしながら前進し、みんなで協力して課題を克服する楽しさを知った。

徳永さん 生徒が自分たちのことを発信する機会がないと思い、新たに生徒会新聞を立ち上げて、月１回の発行を続けている。最初は１人で全部つくっていたが、今は生徒会みんなと一緒に協力して発行していて、新聞がさらにバージョンアップできた。新聞タイトルは「笑う東に福来る」。

藏本さん 思っていた以上に、たくさんのことが降りかかってきた。勉強と部活に加えて生徒会の仕事などが山積みになり、最初は難しかった。でも、体育祭などが終わった後、みんなの笑顔を見たときの達成感が一番印象に残っている。今では、楽しくやらせてもらっている。



中学校の生徒会長に選挙について聞いてみた





Q 過去の生徒会選挙で何を考えて投票した？

藏本さん まずは公約を見て。この人なら津屋崎中を良い方向にもって行ってくれるかなと思う人。あとは演説会での印象や話し方を見て、この人なら学校を変えてくれると思った人に投票した。

徳永さん 何と言っても「東中愛」がどれだけあるか。友達への愛や仲間意識、先生や地域の方々への感謝の気持ち、学校を良くしたいという愛情あふれた思いがどれだけあるかが大切。ちなみに僕が一番、東中愛が強いんですけど。

隈さん 一番は公約やスローガンを見て。学校をこう変えたいというような未来像がしっかりしている人。この人に投票すれば学校がもっと良くなっていく、楽しくなっていくということを意識して投票した。

Q どうして選挙が必要だと思う？

藏本さん 生徒会選挙は全校生徒が投票するもの。だから生徒全員の思いが詰まった人が選ばれる。同じように市民全員が投票すれば、みんなが目指すような市をつくる事ができると思う。だから『選挙』は必要。



徳永さん 今は個性が大事にされる時代。いろいろな考えを受け止めてまとめる人が必要。リーダーや生徒会長は主役ではなく、生徒一人ひとりが自分らしく輝けるように考えて、土台をつくっていく事が大切だと思う。だから『選挙』が必要。

隈さん 例えば国のトップがずっと同じだったら、政策や中身は何も変わらない。それはみんなの声が届いていないということ。『選挙』をすることで新しい考えを入れることができる。みんなの声を届けるために『選挙』が必要だと思う。



Q どうしたら投票率が上がると思う？



まずみんなに知ってもらうこと、そして気軽に投票

候補者自身が自分のことをどんどん発信することが大事。そして身近なネット環境やスマホなんかで、その場で投票できるようになれば、忙しくても投票ができ100%近くになる。



若者・高齢者・過疎地について３つ提案

①選挙に行かない若者対策として、何か公的な料金を上乗せする。
②高齢者は病院でカード読み取り時に投票可能に。
③投票所が遠い地域は車の移動式投票所を。



投票所に行かなくても投票ができる

忙しい方、身体が不自由な方でも、インターネット投票であれば、投票所に行かなくて投票ができる。
ただ、ネットを使い慣れていない人は難しい。そこはよく考えないといけない。

インタビューを終えて

紙面に載せられたのは、ほんの一部の発言。全部を載せられないことが本当に残念に思えるほど、素晴らしい意見がたくさん出されました。

まだ選挙権がない中学生が真剣に『選挙』について考えてくれたことに感謝の思いでいっぱいです。

「３年後に選挙権を持つことになるけど、選挙に行きますか？」の問いには、全員が「必ず行きます！」と頼もしい答えが返ってきました。

次ページは選挙権をもつ「市民の声を聞いてみた」です。どんな意見が出されているか…。



投票について市民の声を聞いてみた





Q この数字は何？ 37.0%

答えは、投票率！

令和4年12月25日に行われた、福津市議会議員選挙の投票率は、福津市誕生から約20年の中で歴代最低の投票率でした。このことは、議員の一般質問に取り上げられ、重く受け止められる結果となりました。

投票率が高ければ高いほど、民意が反映されている選挙結果となるのが日本の選挙制度です。

今回は、市民にインタビューを実施して、「投票率を上げるには？」、「選挙に行くきっかけは？」等をお答えいただきました。皆さんは、どのような意見を持っているのでしょうか。



佐藤 満（さとう みつる）さん

選挙のイメージは？
大人としての権利。

選挙へ行くきっかけは？
受かってほしい候補者がいるので行っている。

投票率を上げるには？
・インターネットでの投票があればと思う。
・新人候補者は公約、現職は実績などを、より見えるようにしたほうがいいのでは。

選挙に行く派!!



内薗 貴大（うちその たかひろ）さん

選挙へ行くきっかけは？
以前は、夜勤があっていく時間がなかったが、今は知人に頼まれるので必ず行く。

国政・地方選挙はどちらへ行っている？
どちらも行っている。国政は、子どもの未来のために。地方は住み良いまちになってほしいから。

投票率を上げるには？
・インターネット投票。
・入院中や入所中の人が、不在者投票ができる医療機関や福祉施設がもっと増えたらいいと思う。



秀野 真理（しゅうの まり）さん

選挙へ行くきっかけは？
子どもたちを守ってくれる仕組みを考えてくれる候補者に投票するため。

投票率を上げるには？
・落ち着いて演説が聞ける機会があればいい。
・子育て中のお母さんたちに向けた、選挙サロンみたいな、選挙について話せる場もあればいいなと思っている。

他にはこんな意見も
- 市議選の時期を変える
- 「選挙割」の導入
- 投票の大事さを教育
- もっと広報を！
- 不参加へのペナルティ

etc…

議会の追跡調査

過去に議員が投票率についての一般質問を行いました。その後、どうなったのかを追跡しました。

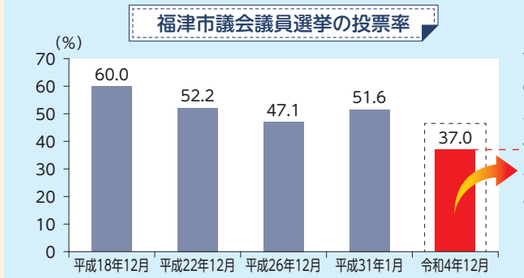
令和5年3月 一般質問

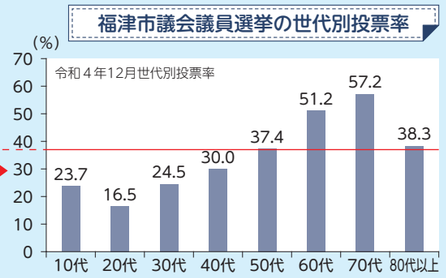
問 先の福津市議選の投票率は37%と過去最低だった。
①特に投票率が低い10～20代の若年層への取り組みは。
②高齢者や障がい者の投票機会の確保への取り組みは。
③利便性向上のため、商業施設での期日前投票や選挙割等を本市でも実施する考えは。

答 ①市内県立高校での出前講座や、小・中学校での主権者教育、「親子で投票へ」等、選挙を身近に感じるPRが大切。
②障害者手帳保有者や要介護5認定者の郵便投票制度の周知。病院や施設等での不在者投票の拡充をめざしたい。
③投票率の向上へ取り組みを検討・調査・分析していく。

あれから進んだのか？
前回の市長選挙では、中学生のポスター作品を活用して啓発を実施。現在、投票率向上を図るため、投票所への移動支援の拡充を検討している。

データでみる 福津市議会議員選挙







- 誰に入れていいのかいまいちわからない。
- 投票所にいくのが面倒。
- 仕事が忙しいので行けない。
- 知人でもないし、頼まれてないので行かない。
- 正直、行く意味がよくわからない。
- 自分が1票入れたところで何も変わらない。
- 結果がいつも期待外れ。

Q どうして選挙に行かないの？

選挙に行かない派!!

- 面白いことがあれば行くと思う。
- 強制されない限り、多分行かない。
- 行かなければ、やばいことになるのであれば行くのかも。
- 時間があれば行くかもね。
- 子どもが行きたいと思える場所にすれば行く（お菓子やジュースがもらえる等）。

Q どうなれば選挙に行く？

- 生活必需品（ゴミ袋、サランラップ等）がもらえるなら行く。
- ネット、郵送、コンビニやスーパーで投票など、「投票しやすさ」が重要。
- 3カ月で結果を出せなければ再選挙（選挙費用は自腹）とか、選挙を面白くしてほしい。
- 不在者投票の簡素化。

投票率100%は不可能か？

「投票率アップ」はよく議論されるテーマです。今回、なぜ投票率が100%にならないのか、投票率を上げるために何が必要か、を知るために各中学校の生徒会長、市民の皆さんから、それぞれ率直な声を聞きました。取材を進めていく中で、生徒会長からは、学校内で生徒会選挙を経験したからこそ、真っ直ぐで大人にとって少し耳が痛い意見を聞くことができました。また、投票に行かない人からは率直な本音を知ることができました。投票環境、政治への距離感は依然として課題であると感じました。

選挙権は、私たちが有する権利です。次回の福津市議会議員選挙は12月27日に行われます。もし、この選挙が投票率100%になったらどうなるのでしょうか？皆さんの生活にどんな影響が出てくるのでしょうか。一緒に想像してみませんか。そして、ぜひ投票に行きましょう。